

事務事業	221201	第二次救急医療体制支援事業		
事業区分	実施計画事業	施策体系	221210 診療体制の充実	
区分	必要性	高い	効率性	普通
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	改良戦略
対象	所沢地区の第二次救急医療の受診者			

事務事業目的	狭山市・入間市・所沢市で協定を締結して、狭山保健所等の関係団体と連携しながら休日・夜間に対応する広域的な救急医療体制の確保・充実に努めることを目的とします。
事務事業内容	本市のほか、所沢市と入間市との3市からなる所沢地区第二次救急医療体制により、適切な二次救急医療の提供に向けた支援を図ります。また、狭山保健所が中心となり、3市が連携して小児二次救急医療体制の強化に取り組めます。
実施形態	補助・負担
成果指標	所沢地区病院群輪番制病院および小児科救急医療病院群輪番制病院による延べ診療日数 <b>令和元年度実績：319日</b>
活動指標	（活動指標1）小児科救急医療病院群輪番制病院の1週間のうちの確保日数 <b>令和元年度実績：6日</b>

**事業コスト計算**

事務事業費予算額	30,860,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	0.25 人
事務事業費決算額	26,425,703 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.29 人
<b>予定値</b>		<b>確定値</b>	
直接事業費	30,860,000 円	直接事業費	26,425,703 円
人件費	2,060,601 円	人件費	2,345,057 円
総額	32,920,601 円	総額	28,770,760 円

見直し実績	小児医療について、狭山保健所と連携を図り、1週間分すべての時間帯の医療体制が確保できるように努めている。	
事業評価	内部要因 外部要因	（ニーズ）緊急時にも安心して受診できる医療体制へのニーズが高まっている。 （弱み）医療機関の運営に関して直接関与できない。
	必要性	埼玉県地域保健医療計画に基づき、休日・夜間における入院治療を必要とする重症救急患者に対する医療を確保するため、医療機関に対する支援が必要である。狭山市、所沢市、入間市で協定を結び、実施している。
	効率性	成人については、3市の14病院の協力により、1週間を通して休日・夜間の二次救急医療に対応している。小児については、4病院が輪番体制を組み、1週間のうち火曜から金曜の夜間と日曜の昼間に対応している。
	方向性	継続して医療機関に対する支援を行うとともに、特に小児医療については、1週間分すべての時間帯の医療体制が確保できるよう、狭山保健所と連携を図っていく。

事務事業	221206	初期救急医療体制整備事業		
事業区分	実施計画事業	施策体系	221210 診療体制の充実	
区分	必要性	普通	効率性	普通
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	改良戦略
対象	全ての市民			

事務事業目的	狭山市急患センターは、初期救急医療機関として休日や夜間における入院を必要としない軽症の救急患者を診療しています。市民が安心できる医療体制を整備するため、二次救急や三次救急と連携を図り、救急医療体制の整備を進めることを目的としています。
事務事業内容	急患センターの設置により、休日（医科・歯科）及び夜間（医科のみ）における初期救急医療を提供します。夜間診療については、狭山市急患センターと入間市夜間診療所との相互受診体制により、両市で1週間を通した初期救急を確保します。
実施形態	補助
成果指標	医科、歯科の合計受診者数 <b>令和元年度実績：3,314人</b>
活動指標	（活動指標1）医科診療日数 （活動指標2）歯科診療日数 <b>令和元年度実績：活動指標1：231日 活動指標2：76日</b>

事業コスト計算

事務事業費予算額	41,446,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	0.26 人
事務事業費決算額	41,289,935 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.25 人
<b>予定値</b>		<b>確定値</b>	
直接事業費	41,446,000 円	直接事業費	41,289,935 円
人件費	2,143,025 円	人件費	2,021,601 円
総額	43,589,025 円	総額	43,311,536 円

見直し実績	歯科に関し、診療時間の短縮等を踏まえた運営方法の見直しについて検討を行った。	
事務事業評価	内部要因 外部要因	（ニーズ）緊急時にも安心して受診できる医療体制へのニーズが高まっている。 （弱み）急患センターの建物自体の老朽化が進んでいる。
	必要性	埼玉県地域保健医療計画に基づき実施している。地域の医療機関の診療体制の充実による受診者数の低迷等、検討を要する問題もあるが、市民が安心して暮らしていく上で必要不可欠である。
	効率性	医師会に委託して実施しており、効率的な運営がなされている。
	方向性	入間市と協力し、継続して初期救急医療に取り組んでいく。